

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

「保育内容の研究（表現-音楽）Ⅰ」を踏まえ、幼稚園、保育園等の保育現場における、音楽的表現活動の実践的な展開方法について指導する。子どもへの音楽指導、保育現場での音楽遊び指導経験、演奏家としての経験を生かし、わらべうたや身体、楽器、リズムを用いた表現活動を通して、自身の感性を磨くと共に表現する力を高められるよう指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス 保育における領域「表現」、子どもの発達と音楽的な表現について
第 2 回	わらべうた・動きを伴う歌①
第 3 回	わらべうた・動きを伴う歌②模擬保育の実践
第 4 回	身体を使った音楽遊び
第 5 回	楽器を用いた音楽遊び①簡易楽器の特徴と指導法
第 6 回	楽器を用いた音楽遊び②簡易楽器を用いた合奏
第 7 回	楽器を用いた音楽遊び③身近な素材を用いた楽器作りと実践
第 8 回	楽器を用いた音楽遊び④和楽器を用いた音楽活動
第 9 回	リズム遊び①ことばのリズム
第 10 回	リズム遊び②ことばを用いたリズムアンサンブル
第 11 回	音楽遊びの計画と実践 ガイダンス
第 12 回	音楽遊びの計画と実践 グループ活動①
第 13 回	音楽遊びの計画と実践 グループ活動②
第 14 回	音楽遊びの計画と実践 発表会
第 15 回	音楽遊びの計画と実践 振り返りとまとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

- 子どもの音楽表現が、五領域の相互的な関わりの中で成り立っていることを理解する。
- 保育における領域「表現」を踏まえ、子どもの音楽的な遊びに対する指導、支援方法を理解する。
- 子どもの発達を踏まえ、音楽的な表現を伴う遊びの計画および実践ができる。

履修上の注意

- 模擬保育の準備、音楽遊びの実践等グループ活動、事前準備等に積極的に取り組むこと。
- 「保育内容（表現-音楽Ⅰ）」履修者が望ましい。

予習・復習

- 毎回、授業内容の復習をし、練習や準備が必要な回には、必ず取り組んでから授業に臨むこと。
- 幼稚園教育要領にある「表現」の項をよく読んで授業に臨むこと。

評価方法

筆記試験 40%、グループ発表 40%、提出物 20%により、総合的に評価する。

テキスト

- 教科書名：『保育・教育のための実践事例で理解するわかりやすい「表現」-幼児期の終わりまでに育てたい 10 の姿-』
- 著者名：梅澤実・森本昭宏 [編著]
- 出版社名：創成社
- 2020 年 (ISBN) : 978-4-7944-8099-6

※その他、随時、プリントを配布する。

※参考文献

- 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『小学校学習指導要領』